

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
Cocotto ここと (児童発達支援)		令和7年 4月 30日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	12	0	2部屋を臨機応変に活用している	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	12	0	職員が多いぐらい手厚く配置していると思う	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	12	0	階段は左右に手すりを付け横に2人が並べる余裕がある。昇降時には必ず職員が付き添っている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	12	0	終礼時に清掃と消毒を日々行っている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	12	0	1階に小活動室がある	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	12	0	職員の昼食前や夕礼時に振り返りを行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	0	ホームページに公表している	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	0	相談や意見は都度職員間で話し合い、改善の試みを行っている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	11	1		外部評価の機会が多くない
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	12	0	オンライン研修を2025年3月より導入した。外部研修の案内も時々あり。研修受講後は報告書で職員間で共有する	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	12	0	ホームページやInstagramで公表している	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	12	0	時間をかけてアセスメントを行っている	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	12	0	計画書下書きの時点で職員間で共有し、都度検討を行っている	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	12	0	経過観察記録を利用終了後に必ず記入し、計画に沿った支援の結果どうであったかを記入している	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	12	0	リタリコツールあり	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	12	0	個々に応じた具体的な支援内容が設定されている	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	12	0	職員が交代でリーダーとなりプログラムを共有しチームとして療育に当たっている	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	12	0	色々な職員が活動を順に担当し、同じ内容にならないようにアレンジしている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	12	0	状況に応じ小活動室も使っている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	12	0	朝礼時に行っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	12	0	職員の昼食前や夕礼時に振り返りを行い記入している。共有ノートがある	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12	0	連絡帳や経過観察記録を毎日記入している	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	12	0	計画の見直しが必要と判断した場合は見直しを行い、達成してない場合は継続したり別方面からのアプローチを試みる	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	12	0	児発管があたっている	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	12	0	個々の主治医を把握し、施設としての協力医療機関の情報を玄関に掲示している	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	12	0	療育センターでのテスト結果の共有を行っている	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	12	0	引き取り時に児童指導員が情報を共有と相互理解を行っている	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	12	0	場合によっては電話で連携を取る事もある	忙しいと時間を十分取って貰えない事や門前払いも多い
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	12	0	こども文化センターを利用している	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12	0	フィードバック、連絡帳、ラインなどで常に共有している	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	12	0	連絡帳やお送り時などに多くお話の時間を取っている	仕事をしている親御様が多く参加できるご家庭が少ないと予想される
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	12	0	契約時に行っている	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12	0	契約時や面接時に行っている	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	12	0	都度同意を得ている	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12	0	送迎時や連絡帳を使いお子さま、家庭内、お母様のメンタル等の相談にのっている職員に共有し話し合うこともある	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	12	0	年に一回保護者会を開催したり、親御様の参加できるイベントを開催している	お忙しい親御様が多く、なかなか人数が集まらない
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12	0	相談や申し入れについては電話やlineで当日中に完結している	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	12	0	Instagramやブログ、ホームページで発信している	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	12	0	十分に配慮している。小さなミスでも共有しヒヤリハットに上げている	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	12	0	ハンドサイン、ジェスチャー、表情などでこどもの意思を理解しようと配慮している。成功した事に関しては職員間で共有している	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	12	0	招待はないが、ハロウィンでは毎年近所のお店や高齢者施設をまわって地域の方と交流している	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定するとともに、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	12	0	訓練は定期的の実施し、いつでも誰でも閲覧できるようになっている	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	12	0	BCPを策定し、必要な訓練を各曜日定期的に行っている	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	12	0	契約時にお伺いし、個別ファイルに記してある。必要と思われる情報は職員が目につく場所に掲示している	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	12	0	食物アレルギー児は現在いない	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	12	0	定期的に訓練を行っている	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	12	0	連絡帳や送迎時に行っている	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	12	0	職員昼食前や夕礼時に共有しヒヤリハットを記入。再発防止にむけて話し合いを持っている	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	12	0	虐待防止身体拘束等適正化委員会を定期的に開催し、意見交換や動画研修を行っている	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	12	0	夕礼やミーティング時に話し合い、共通認識を持っているが、現在身体拘束になりうる児はいない	